



東海道とまん中



県道掛川浜岡線の小笠バイパスをつくっています。

掛川支所

事業概要

当路線は、掛川市と御前崎市を結ぶ生活路・輸送路として重要な役割を果たしていると同時に旧菊川町と小笠町の合併後は市南北を結ぶ動脈としての役割を担っています。しかしながら交通渋滞が慢性化し、付近住民の生活環境が悪化している現状にあります。このような現状を改善するため、道路機能と周辺環境の向上を目的にバイパスの整備を行っています。

事業効果

南北交通の分散化が図られ、交通渋滞緩和と沿道環境の改善が期待されると共に地震時等の緊急輸送機能確保も目的としています。

事業の状況

全体計画

路線名：主要地方道

掛川浜岡線

箇所名：菊川市下平川

事業延長：L=1,500m

幅員16.0m

事業費：20億円

事業進捗：81%

(平成22年10月末現在)

供用開始区間：区間南側

県道相良大須賀線交差点

付近 L=500m

今年の予定

平成22年度事業内容：

道路新設工（山切工及び擁壁、側溝工）L=500m

平成24年度末

完成供用開始予定



位置図

職場紹介コーナー

建築住宅課

『ポルトガル語いる？』
『日本語わかりますか？』

こんな奇妙な会話が日常的となった職場。
県営住宅の4割を超える入居者が外国人である。
『上階がうるさい』『ゴミ出しが悪い』など入居者同士のトラブルも多く、『県の指導が悪い』ときつ〜いお叱りを受ける日々が続く。
また、高齢者世帯も2割となり、室内段差の解消やエレベーターの設置などの改善工事を実施している。

『会社クビ。家賃払えない』
『日本語わかりますか？』



磐田団地D棟全面的改善事業



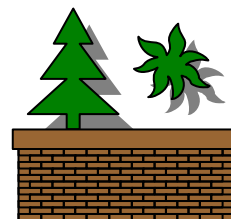
通訳による外国人対応

一方、建築に関わる法律の改正や新法の施行が続き、今年度を見ても「住宅瑕疵担保履行法」「長期優良住宅普及促進法」「改正省エネ法」などの事務が新たにスタート。所管する法律は12本となった。

ここ数年は、新たな法律が矢継ぎ早に施行されたり、やっと理解したと思った法律が改正されたりと、ため息をつく暇も無く、8人の職員は法律の解説書がボロボロになるまで、日夜勉強にまい進する日々が続く。

用地調整課

Q&A コーナー



Q 「土地調査」「物件調査」について教えてください。

A **土地調査（測量）**

お譲りいただく土地の境界及び現況地目などについて、現地調査を行います。境界については、所有者や隣接者の方々に立ち会っていただき、確定します。

物件調査（建物など）

権利者ごとに、建物や塀・門などの工作物、立竹木などの調査を行います。

Q その他に、どんな調査がありますか。

A 建物が住居や店舗などに利用されている場合は、居住者、動産（引越し荷物）、営業等についての調査があります。

発行者・問合せ

〒437-0042 袋井市山名町2番1号

静岡県袋井土木事務所（企画検査課）

TEL0538-42-3216 Fax0538-42-1782 e-mail : fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.lg.jp

袋井土木事務所HP/URL : <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/index.html>

